

会員・市民、有識者等、皆様の声をお聴かせください。

* 会員、市民、有識者などの皆様との対話を核として、関係機関との合意形成を大切にしながら、VISION 2032の実現を目指してまいります。

・会員・市民や有識者の皆さまからのご意見を、引き続きお寄せください。お待ちしております。よろしければ、氏名、年代、性別等、匿名の場合もお知らせください。

・ホームページ(財団江戸城)のお問合せコーナーからも、送信できます。

・Gメールアドレス zaidanedojo@gmail.com から送信できます。

・Eメールアドレスをご登録し、セミナー情報・ニュース等をご案内致します！

よろしければ、お名前(フリガナ)ご記載のメールを、下記当会アドレスまでお送りください。

また、ご変更の際は、お知らせ頂ければ幸いです。

事務局からのご案内

・2023年度会員資格継続(会費納付)を戴きますよう、お願い申し上げます。

当会は、企業の運用益を財源とする財団法人とは異なり、会の事業や運動にご賛同戴いたみな様の会費と寄付により、徹底した非営利活動を行う財団法人です。

・ご入会、ご支援いただける方を、随時募集しております。

また、会の活動支援のために、会員や寄付者のご紹介をお願い申し上げます。

・当会は2004年市民運動「江戸城再建を目指す会(後のNPO法人)」を創立以降、12年の運動の集大成として2017年1月に一般財団法人を設立し、現在に至っております。詳細は「市民団体の創設からこれまでに至る主な活動の歩み」をご覧ください。※ご参考 当会HP「2004年 市民団体の創設からこれまでに至る主な活動の歩み」(<https://zaidan-edojo.or.jp/aboutus/koremade/>)

・現在のNPO法人「江戸城天守を再建する会」は、天守単体の復元を目指し、世論喚起の活動を旨としております。当会の江戸城全体整備構想における事業や運動論とは異なる活動をしておりますので、ご留意頂きますようお願い申し上げます。

【編集後記】

(H) 江戸城内にお神輿が入り上覧する將軍、町人の喜びも頂点に達した天下祭りが目に浮かぶようです。お祭りが大好きな日本人、お神輿を担ぐ熱気、太鼓や笛の音も聴こえるようです。そこには多くの物語があるでしょう。夏まつりは直ぐやってきます。特別企画をお楽しみください。

(Y) 数百年を経ても人々を惹きつける神田祭。時を経るごとに魅力が増すモノやコトが増えていけば江戸東京ももっと魅力的になるはず。新しさの波を押し返す時代をすぐそこに感じます。

(U) 種々の事情により、会報誌発刊が1か月遅れとなってしまい、申し訳ございません。

お問い合わせ先

一般財団法人 江戸東京歴史文化ルネッサンス

〒102-0075 東京都千代田区三番町1-16 Eメール: zaidanedojo@gmail.com

ホームページ <https://zaidan-edojo.or.jp/> FAX :03-3977-3510

※現在、新型コロナウイルス対策やデジタル化の推進のため、テレワークを中心に活動しております。ご用の際はEメールもしくは郵便にてご連絡頂けたら幸いです。

近未来の世界遺産を目指す 江戸城・城下町ルネッサンス

2023年6月2日

第16号

ご案内

- ・理事長ごあいさつ
- ・「VISION 2032」提言等の活動をさらに推進
- ・プラットフォーム歴史的建造物(有形文化財)と伝統文化(無形文化財)
- ・特別企画 江戸城と天下祭り・神田祭り4年ぶりに開催

近未来の世界遺産を目指し、本丸御殿等江戸城全体構想の

策定並びに歴史文化資源を活かした観光まちづくり

「VISION 2032」更なる提言などの活動の推進

日頃より、ご支援・ご協力を戴き、誠に有難く篤く御礼申し上げます。



東京都策定中の文化財保護法の「大綱」による東京都の方針、区・自治体への具体的な支援策及び例えば、歴史的建造物群等を観光に活かすための、区を超えたテーマや連携のしくみ、財政支援等を期待する声が自治体から多々ありました。これらの取り組みを推進してこそ、まさに、城郭都市・江戸東京に確実に繋がるプロセスであると、存じます。

文化庁は、本年3月、歴史的建造物群と景観を文化的資産としての価値を再認識し、再活用の推進に向けて検討会を設置し検討を進めております。

とりわけ、歴史的建造物群や景観の美しさは、世界遺産の中でも、最も圧倒的な位置を占めており、経済的波及効果は大きなものがあるといえるでしょう。

東京エリア全体を俯瞰する歴史的建造物群や伝統文化や工芸などの歴史文化資源を活かした観光まちづくりは、東京都の役割と強いリーダー・シップが、いま、求められています。

世界の首都は、特にその都心は、その国の歴史や伝統文化を全面に押し出し、しのぎを削る熾烈な都市間競争の時代になり、久しいといえます。

しながら、東京は、歴史まちづくりの申請認定箇所もなく、国連世界観光機関とユネスコが推進するSDGsの観点からの文化観光の推進、あるいは、世界経済フォーラムの観光開発指標で世界3位となった、無形文化遺産等は、世界のリーダーや富裕層の期待の表れと注目に値するが、驚くほど鈍いという感を禁じえない、のではないだろうか。

一方、旧江戸城周辺は、縦割り行政の岩盤ともいべき多くの規制が重層化しており、前述のような背景からも、これらの地域で集中的に規制緩和や税制優遇を行い、国際競争力の強化や経済の活性化に取り組むことも必要であると考えます。

近未来の世界遺産を目指し、本丸御殿等、江戸城全体整備構想の策定並びに歴史文化資源を活かした観光まちづくりの実現のためにも、引き続き、さらなる、普及・啓発・提言活動を軸にあらゆる選択肢を検討し、それらの着実な、実現に向けて、取り組みを進めて参ります。

今後共、ご支援ご協力を戴きますようお願い申し上げます。

2023年(令和5年)6月2日

理事長 小竹 直隆

ウェブサイトで情報公開中

本丸御殿等、江戸城全体整備構想の策定活動と表裏一体となる活動

プラットフォーム・Platform 江戸東京歴史文化資源

「江戸東京歴史文化ルネッサンス・プラットフォーム・(以下、プラットフォーム・Platform)は、江戸東京の「歴史文化資源を活かした観光まちづくりの形成及び発展に貢献することを目的として、本丸御殿等の江戸城全体整備構想の策定活動と表裏一体となる活動として、進めて参ります。東京の都市全体が有する歴史性や文化性の観点から、有形・無形の歴史文化資源や自然環境に関与する人々や主体の活動について、アナログやデジタルの活用を模索しながら順次、お伝えして参ります。

江戸城と城下町に残る江戸城趾の痕跡



特別史跡江戸城跡は、皇居と城跡が併存し、四季折々の自然にも囲まれています。自然と一体となった、世界にも類のない雄大で美しい城郭を形成し、世界遺産にも十分に匹敵すると云われています。櫓、石垣やお濠、城門や天守台の遺構、失われた本丸御殿などの歴史文化資源の痕跡も窺われます。

現在の東京は、城 (castle) と宮殿 (palace) の両者が同一場所であり、世界を見渡しても特異な都市といわれています。江戸城の最強の要塞であった外濠や江戸城跡の歴史文化遺産の傑出した価値は、世界に類がないといわれています。

有形文化財

建造物、工芸品、彫刻、書跡、古文書、考古や歴史資料等の有形所産で歴史上、芸術上・学術上の価値が高いものの

江戸の初動期、家康と家光の残した城門と石垣

江戸城は徳川将軍家三代の約半世紀をかけて天下普請として築城した我が国最大級の城郭です。家康・家光時代の城門、石垣も良好に残っています。



家康の時代

家光の時代

無形文化財

演劇・音楽・工芸技術、その他無形の文化的所産で日本の歴史上または芸術上価値の高いもの



無形文化財

